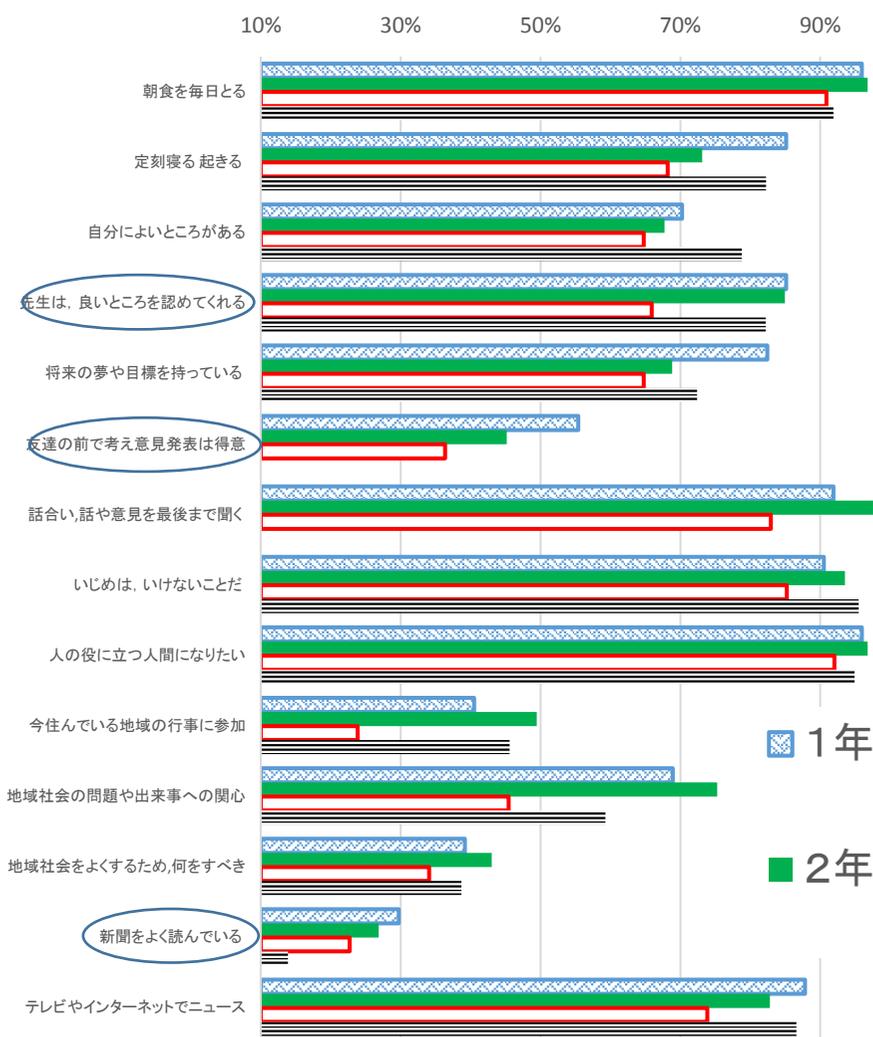
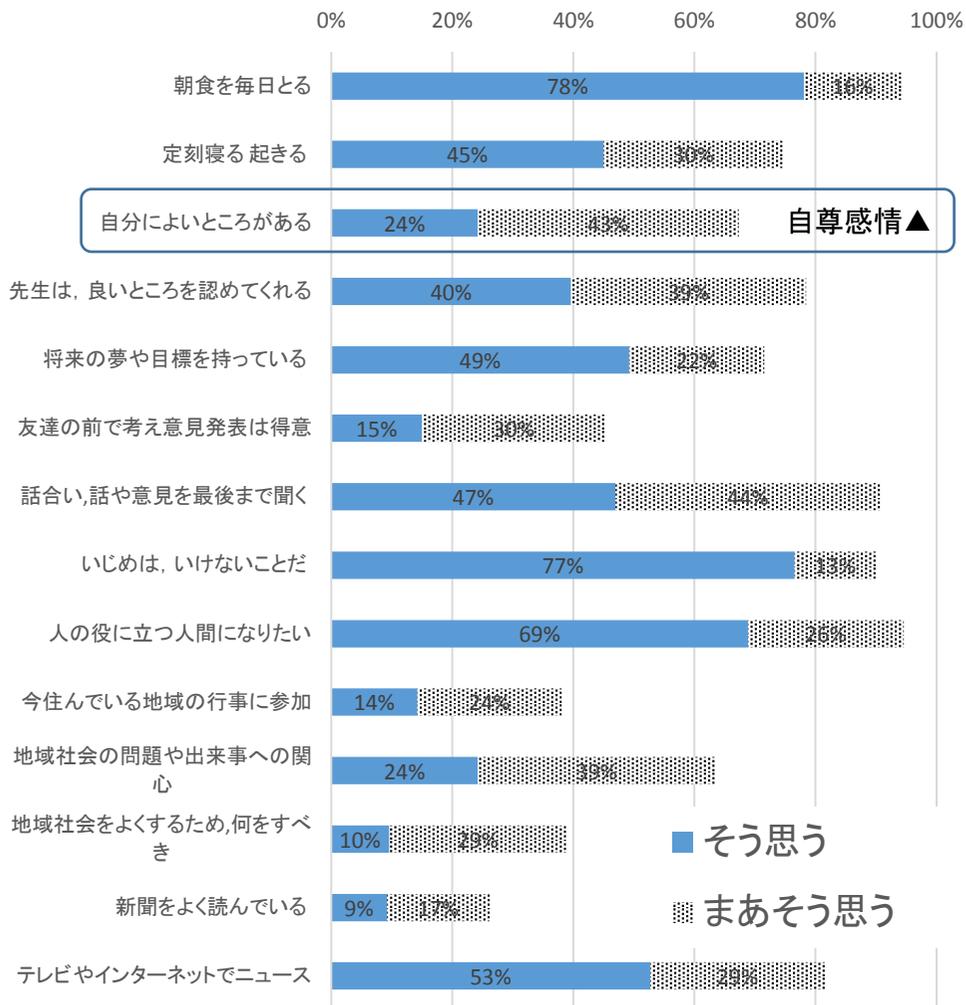


帯広市立帯広第二中学校 生活・学習習慣・学校生活全般への意識調査:結果

2018/08/16 調査 1回目

全校【生活習慣/個人思考】



【学力と自己肯定感との関係】

各教科の正答率が低い児童生徒ほど、「自分には、よいところがある」と回答した割合が低い。

【達成感、意欲等に関する子供の意識と自己肯定感との関係】

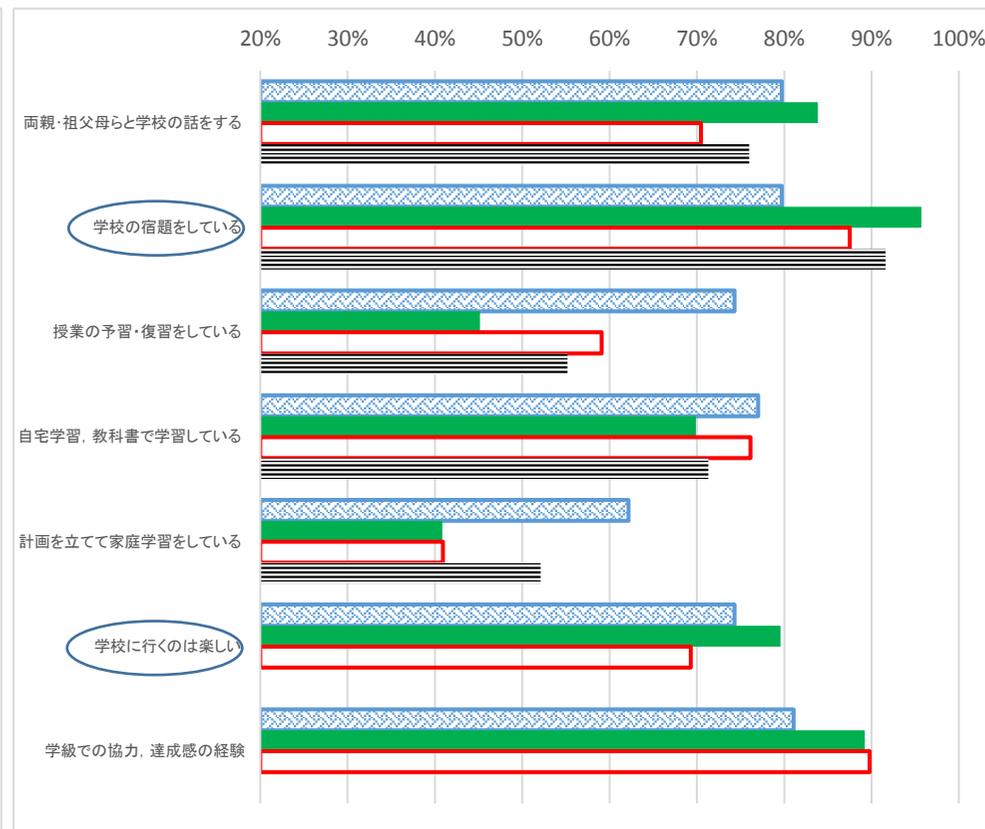
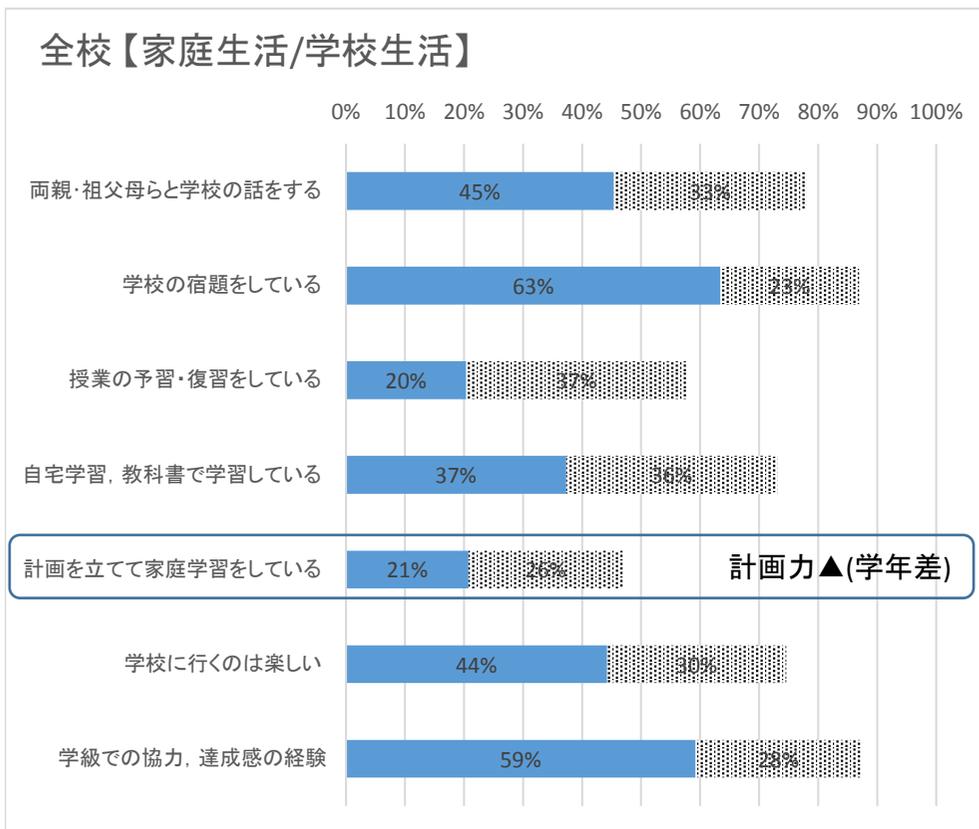
達成感を感じたり、意欲的な意識等が低い児童生徒ほど、「自分には、よいところがある」、「今の自分が好きだ」と回答した割合が低い。

□「自尊心」を高めるよう、認め、褒め、発表・意見交流への抵抗をなくす学級集団・学習集団づくり

□『人の役に立つ人間に』この感情を生かしたい

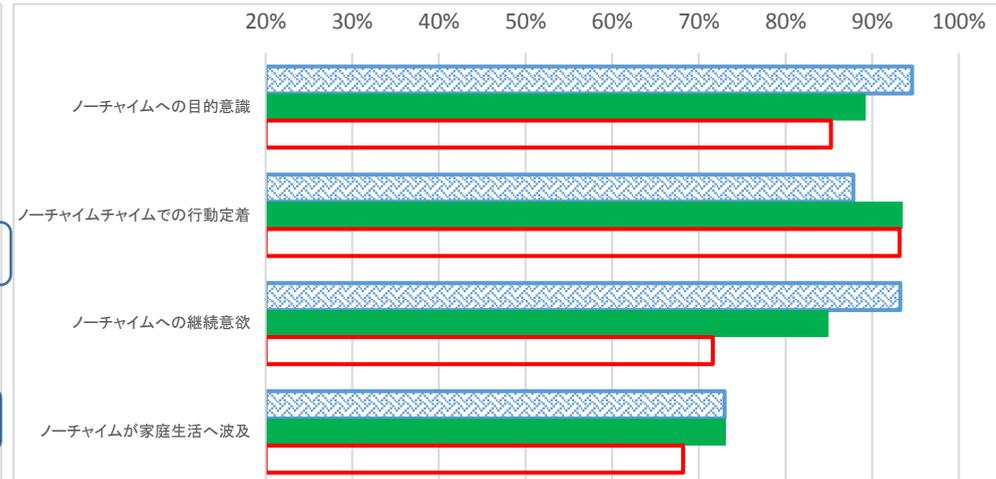
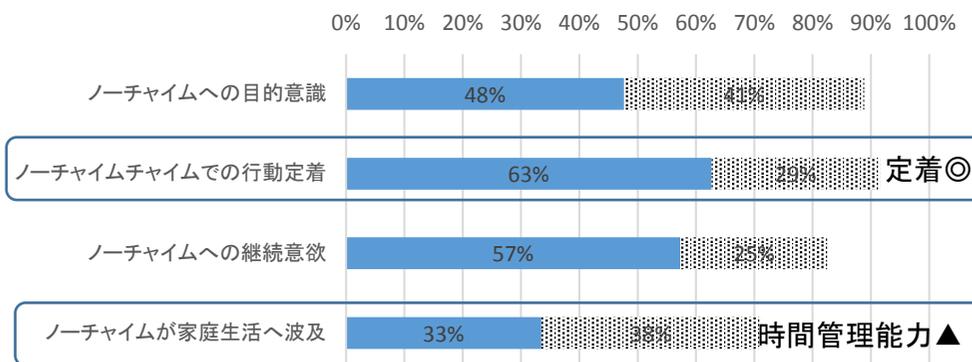
□『新聞』十勝毎日新聞効果？

※第38回教育再生実行会議(平成28年10月28日)の参考資料2

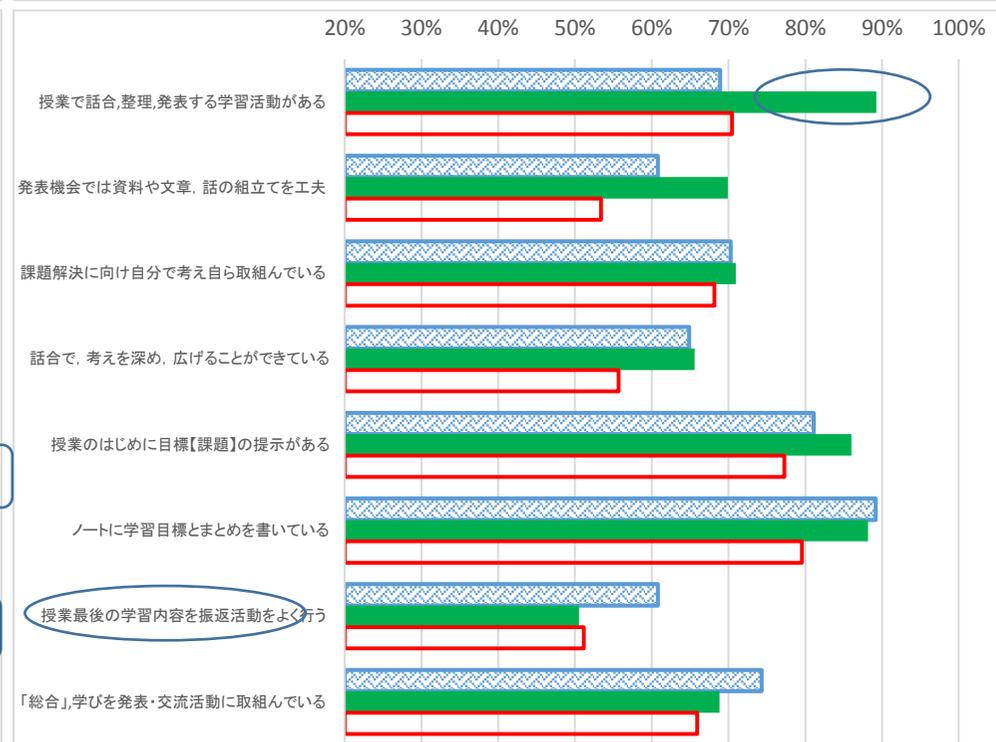
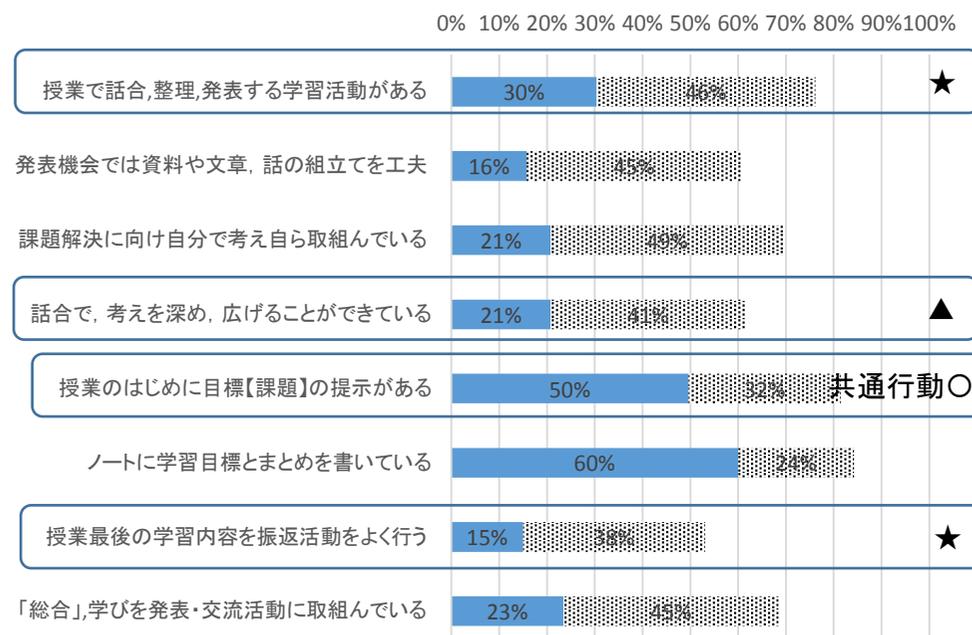


- 計画的な学習習慣に課題あり
- 宿題への取り組みは良好 → 「与えられた課題への取り組みは行うが、計画的に、自発的に工夫した学習」に向かいたい
- 「学校に行くのは楽しい」 → さらに高めたい

全校【ノーチャイム】

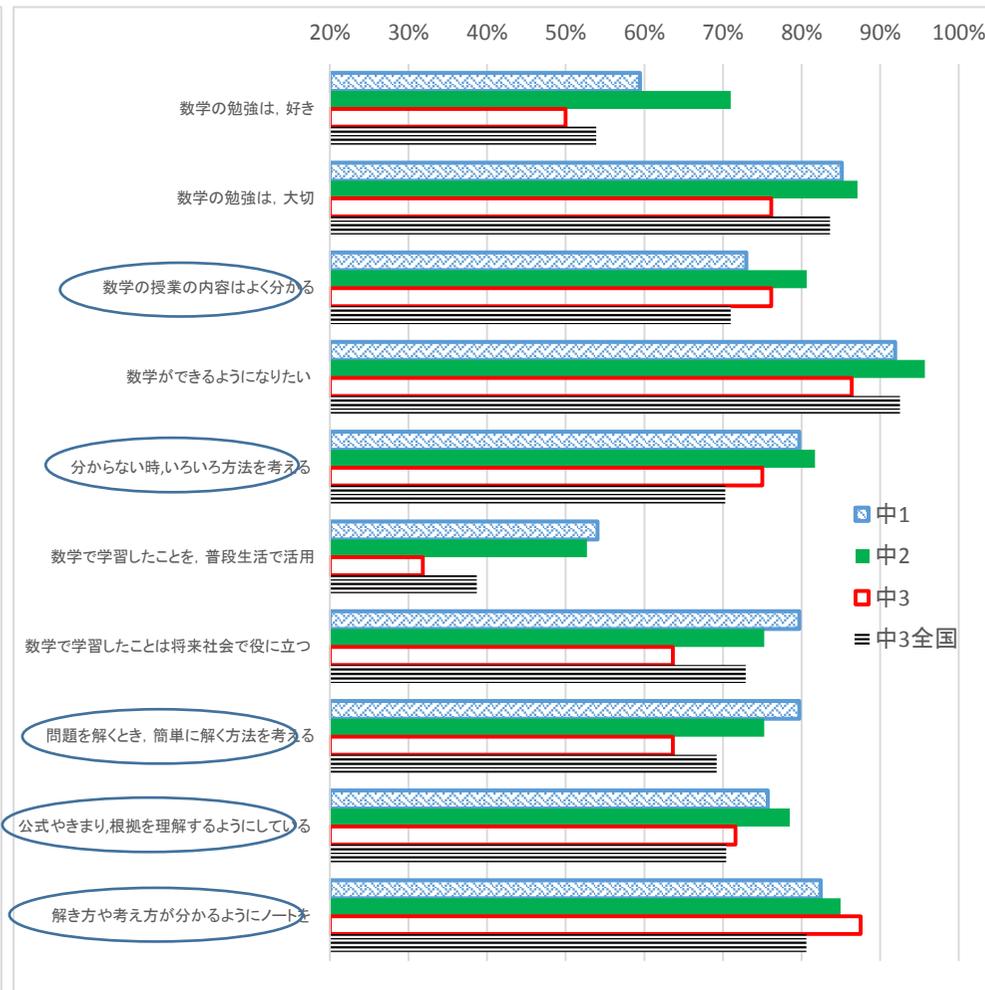
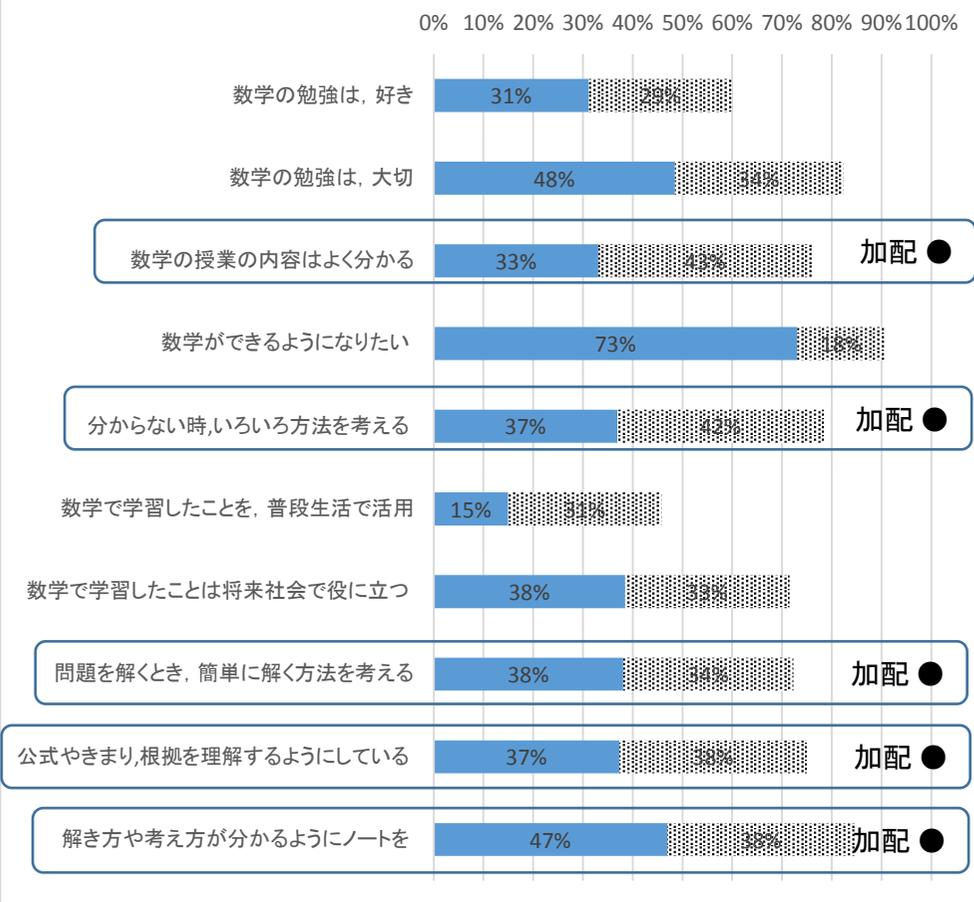


全校【学習習慣/授業評価】



- ノーチャイムでの行動は定着しつつあることがうかがえる。個人・家庭での行動への波及を期待したい
- 話し合い、整理、発表の学習スタイルと、課題の提示について、子どもたちの意識にも高いものが見られる
- 振り返り活動、思考を広げると行った活動にも今後期待したい

全校【習熟度指導工夫改善(数学)】

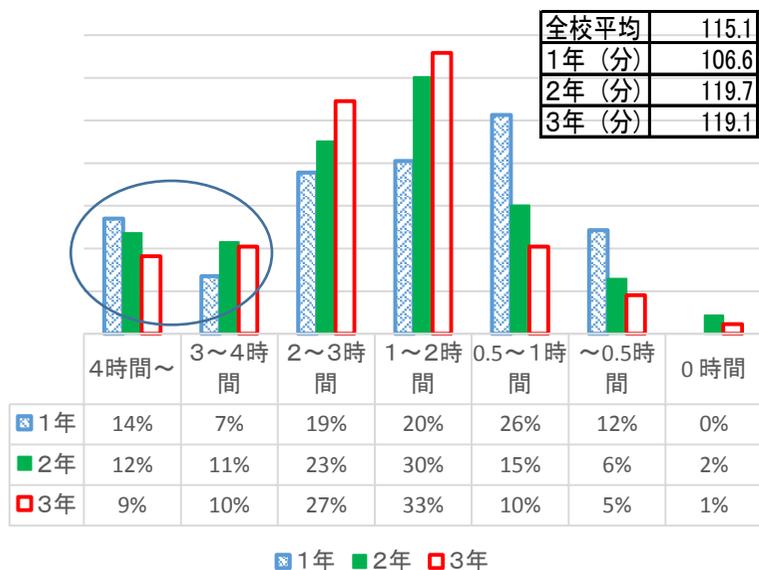


- 少人数・習熟度学習の成果として、「授業内容がよくわかる」項目が向上
- 解法について、よく考える習慣づくりにも効果を見ることができた

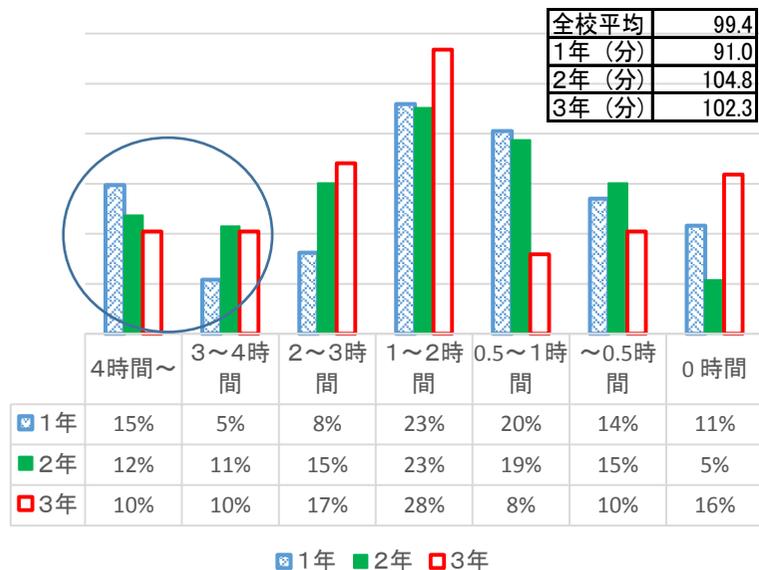
- 「解き方や考え方がわかるようにノートを工夫している」の項目で、3年生の工夫の様子が見える

- 習熟度により少人数にすることで、より丁寧に指導がされており子どもたちの理解、思考も深まっている様子と捉えることができる

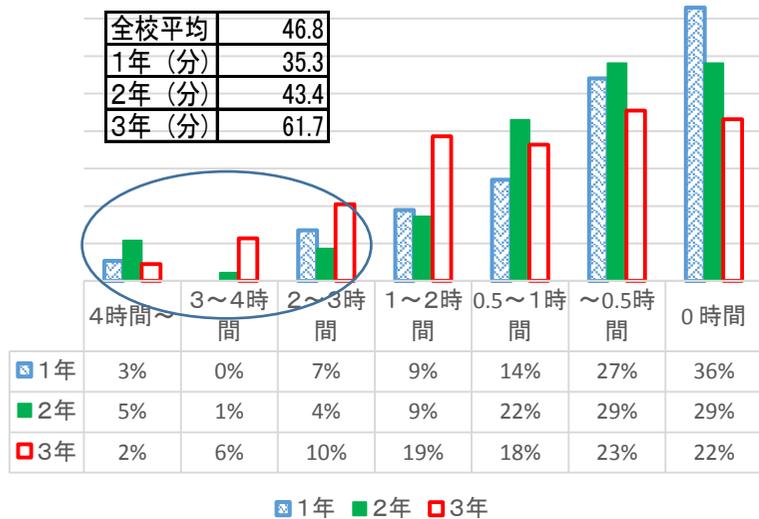
平日,1日当たりの動画視聴時間



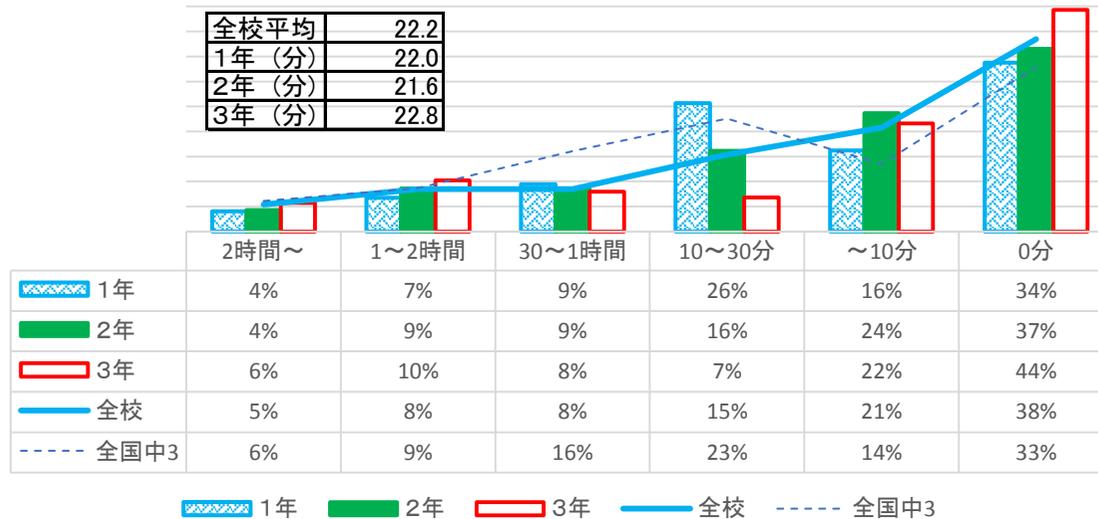
平日,1日当たりのゲーム時間



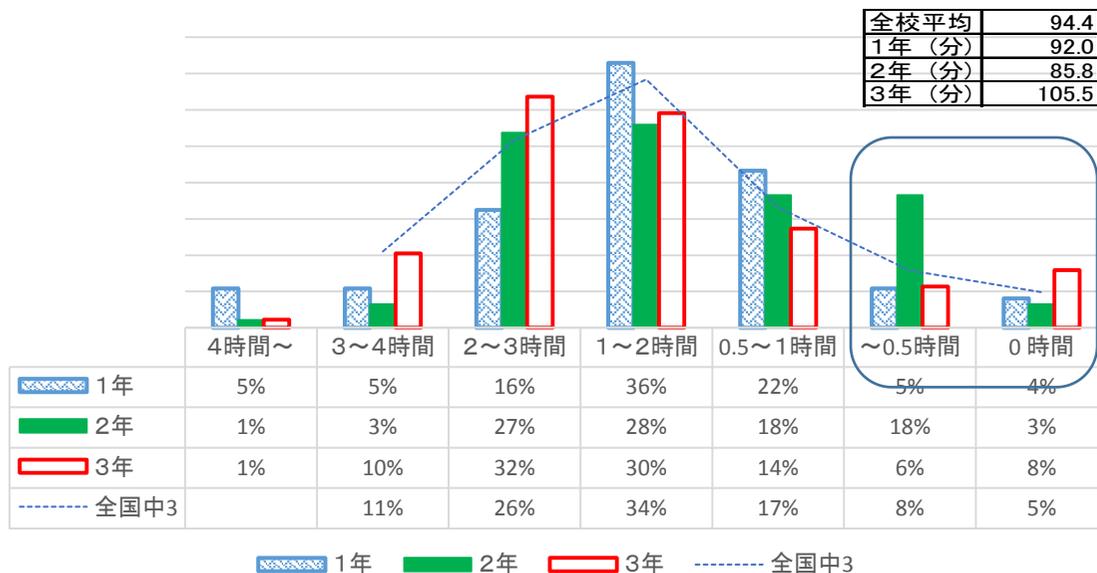
平日,1日当たりのメール,SNSの時間



朝読書以外,1日の読書時間

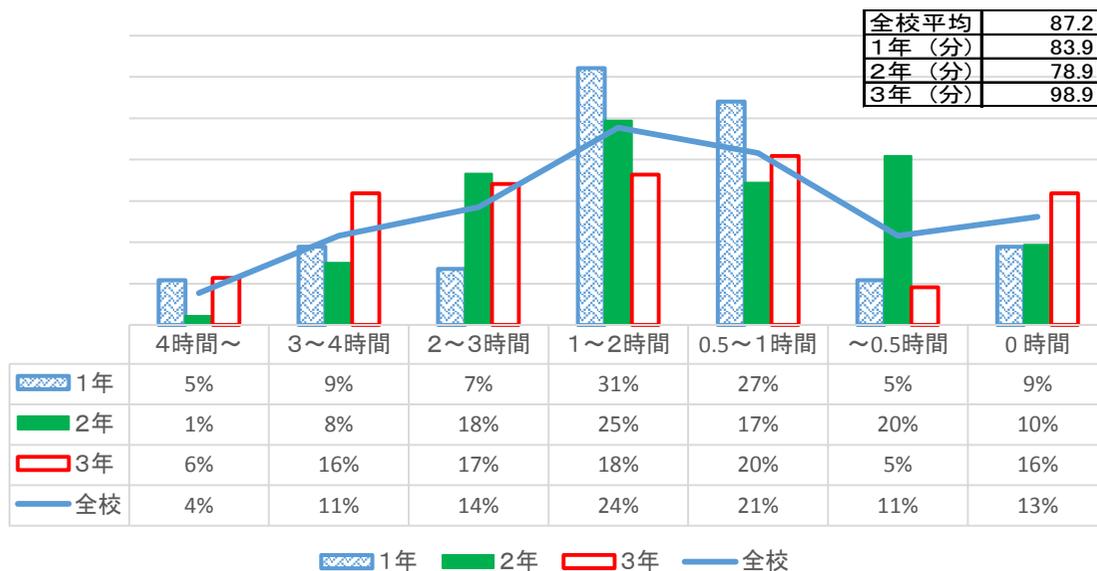


授業以外, 月～金の1日当たりの学習時間



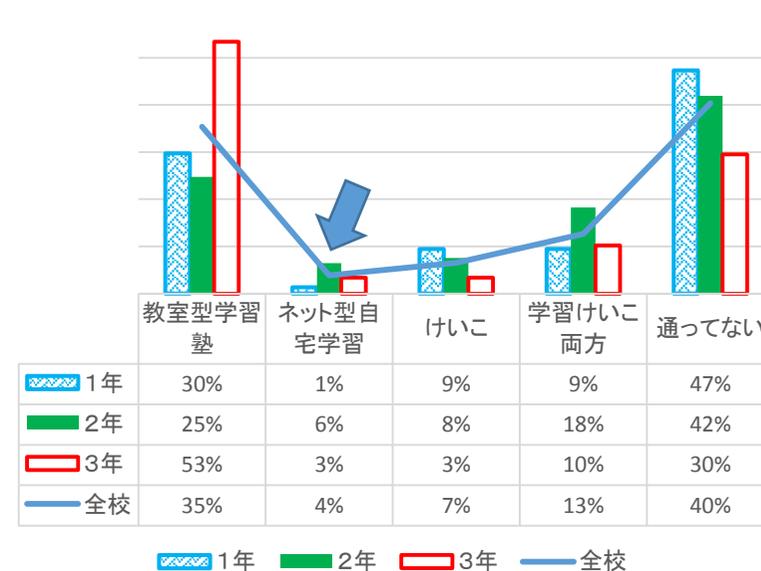
1年 2年 3年 全国中3

土日祝日の1日当たりの学習時間



1年 2年 3年 全校

学習塾・けいこごとに通っている



1年 2年 3年 全校

